

こおろぎ

発行日 2010年5月1日 No.208
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
発行者 杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

ハガキ祭り

4月3日に第7回静岡ハガキ祭りが、4月10日に滋賀県大津市で、第1回全国ハガキ祭りの集いが開かれました。

静岡ハガキ祭りでは、静岡の女性で初めて複写ハガキ1万枚を達成した中村美代子さんが、自分の闘病生活とハガキについての体験を発表してくれました。

その後、三重の小泉直也さんと、山梨の天野績男さんが、ハガキを書いたの体験を発表してくれました。お二人とも、今では立派に会社を営まれているのですが、苦しいときがあったことを伺って私たちも勇気をもらった気がします。

そして、先日、亡くなった高遠翼君のお母さんが10万羽の折鶴を100羽ずつまとめた「10万分の100羽鶴」を配ってくれました。

この10万分の100羽鶴は、翼君のおばあちゃんが、たくさんの鶴の中から同じ色の鶴を探し出して、色をそろえて作ってくれたものです。とても手がかかる作業なのに、ハガキ祭りのために参加者の数を間に合わせてくれました。お孫さんを亡くしたおばあちゃんの心がこもった折鶴をもらって、とても感動しました。

最後に、子どもさんが不登校になったことで学校を退職した井上さんが、ハガキやCL（建設的な生き方）を学んで、今月からフリースクールを開くことになった挨拶をしてくれました。

不登校になったことを生かして、不登校の子どもたちの力になろうという井上さん親子を私たちも応援したいと思います。

第1回全国ハガキ祭りの集いでは、坂田先生、鍵山先生、半田先生と一緒に、なぜか私も講師の一人に入れていただきました。とても温かな会で、主催して下さった皆さん、本当にありがとうございました。右に私の発表のあらましを紹介しておきます。

今月の活動情報 活動を早く知りたい方は、ホームページで

- 5/1~5 CL 後期トレーニング (カリアック)
- 5/5(水) 浜松建設的な生き方を学ぶ会 (京丸園)
- 5/8(土) 島田建設的な生き方を学ぶ会 (オリジン)
- 5/8~9 静岡経営塾 (オリジン)
- 5/11(火) 埼玉建設的な生き方を学ぶ会 (ウィルさいたま)
- 5/12(水) 横浜建設的な生き方を学ぶ会 (横浜地域職業訓練センター)
- 5/12(水) 東京建設的な生き方を学ぶ会 (株式会社東西)
- 5/13(木) 山中湖建設的な生き方を学ぶ会 (安心サービス)
- 5/14(金) 南アルプス建設的な生き方を学ぶ会
- 5/26(水) 松阪建設的な生き方を学ぶ会 (お菓子茶屋 1010 番地)
- 5/27(木) 「成功する人 しない人」 (松阪市倫理法人会)
- 5/27(木) 沼津建設的な生き方を学ぶ会 (原地区センター)
- 5/27(木) 沼津経営塾 (沼津市民文化センター)

本の紹介

秋庭道博著「深い言葉」(麗澤大学出版社)

この本は、先人や同時代の方の叢智や発想が、とてもわかりやすくまとめられている本です。そのため、私たちが人生に迷ったときに進むべき道を示してくれる一冊だと思えます。

秋庭さんは、十数年にわたっていくつもの新聞に「きょうの言葉」を書かれてきた方です。これまでに「こおろぎ」の内容を、何度も紙面で紹介してくださっています。

光栄なことに、この「深い言葉」では、司馬遼太郎さんの次に私の言葉を紹介してくださっています。私の言葉は別として、本当に良い内容の本ですから、是非、読んでみてください！

複写ハガキの意味

私は複写でハガキを書いています。私がハガキを書くうえで、意識してきたことが3つあるので、ご紹介します。

1つ目は、自分の「遺書」としてハガキを書くということです。

三浦綾子さんの著書に「塩狩峠」という本があります。その本の主人公は「信夫」というのですが、その父親が亡くなる時に「これまで父が言ったこと、父がなしたこと、すべて遺言だと思ってほしい」という遺書を残しています。この遺書は、とても衝撃的なものでした。

もし私が死ぬとしたら、「これまで私が言ったことや、私がしたこととは忘れてくれ」と言いたくなる生き方をしていたからです。この本を読んで、「せめてハガキだけでも、私の思いを綴ってほしい」と思って、遺書のつもりで複写ハガキを書き始めました。

毎朝、毎朝、まだ暗いうちから書いてきた複写ハガキの控えには、私がどんなことを大切に思い、どんなことを素敵だと思っていたのかが綴られています。

将来、子どもたちが読んでくれるかどうかはわかりませんが、複写ハガキには、子どもたちや、人に対する私の思いが綴られていて、そのことによって私の生き方も支えられている気がします。

2つ目に意識してきたことは、ハガキを書く方の「人生の証人」になることです。

父が亡くなり、父の遺品を整理していたときに、父の日記を見つけました。その中には「今日、病院で私の若いころを知っているが亡くなった」と書かれたページがありました。

7年間、寝たきりだった父にとっては、自分が輝いていたときのことを知っている友人が亡くなることは、輝いていたころの自分が亡くなることと同じだったのだと思います。

人は、自分ががんばったことや、自分がやさしかったことを誰かに覚えておいてもらいたいものだと思います。複写で書くことで、その人ががんばったことや、やさしかったことが刻まれ、証拠として残るのです。

私がハガキを書くうえで意識している3点目は、CL（建設的な生き方）のトレーニングとすることです。

CLとは、目的を持って必要な行動をする森田療法と、人にしてもらった事実を認める内観法からできています。

私は、そのどちらも苦手で、目的よりも気分に流された行動しがちですし、人のお世話になりながら、自分の期待と異なるところに目がいきがちです。

そんな生き方をしているには良い人生になるわけがありません。

私は、ハガキを書くことで、気分に流されない生き方や、人にお世話になったことや迷惑をかけた事実を認めるトレーニングにしようと思っています。

20年近くハガキを書いてきて、自分で変わったと思うことは、「努力すなわち幸福」ということが実感できるようになったことです。私たちは、努力して良い結果が出ることを幸せと考えがちです。もちろんそれも幸せですが、目的や願いを胸にコツコツ努力しているそのときに、充実した人生を生きていると感じられるようになったことが一番の成果だと思えます。

中には「ハガキを書いても1円の得にもならない」と思う方がいるかもしれませんが、自分の人生を充実したものにすること以上に「得なこと」があるのでしょうか。「得」というと、つい金銭的なことをイメージしがちですが、お金は人生を豊かにするための道具にすぎないのです。来年は、皆さんもハガキ祭りに参加してみたいでしょうか？ きっと人生が豊かになると思えます。